

# 地震・台風・大雨・土砂災害 できていますか？ 災害への備え



**避難所にWi-Fi環境を整備**  
市では、一次避難所にWi-Fi環境を整備する「デジタルケア避難所構築事業」に取り組んでいます。Wi-Fiの設置により、インターネットでの情報収集や避難所での受け付けの簡素化、混雑状況のリアルタイム把握が可能になります。

**避難所開設時は誰でもフリーWi-Fiが利用可能**  
避難所開設時は、フリーWi-Fiを避難者の皆さんに開放します。安否発信や情報収集に役立ててください。



※現在、市内の一次避難所のうち、令和5年4月1日に一次避難所に指定した五十市地区体育館は、夏ごろにWi-Fi整備予定。その他の全ての一次避難所は令和4年度までにWi-Fi整備済み

**避難所の混雑状況が、リアルタイムで把握可能に！**  
避難所混雑状況確認サイト「ポケコム」で避難者の人数や混雑状況がリアルタイムで確認できます。



近年、国内では台風や集中豪雨により浸水害や土砂災害などが発生し、甚大な被害がでる事例が増えています。本市でも昨年9月、台風14号により大きな被害が発生しました。これから災害が発生しやすい時期を迎えます。都城市総合防災マップを活用するとともに、テレビやラジオ、インターネットを使った情報収集の方法、災害時の連絡先などを把握しておき、いざという時に落ち着いて行動できるようにしましょう。

◎問い合わせ 危機管理課  
☎23-2129

## 早めの情報収集が大事

災害時は、防災行政無線やホームページなどで防災情報をお知らせします。また、宮崎県防災・防犯情報メール配信サービス、宮崎地方気象台スマートフォン向けホームページ、ヤフー防災速報などでも、命を守るための情報を発信します。日ごろから、気象に関する情報を入手できるようにしておきましょう。

## 災害時の情報収集に役立つ、主なウェブサイトなど

- 市ホームページ 避難情報や避難所の開設状況などを発信します
- 宮崎県防災・防犯情報メール配信

サービス 防災や防犯、消防、火山、台風など、希望する情報が登録者にメールで配信されます

●宮崎地方気象台スマートフォン向けホームページ 今後の雨雲の動きや自治体ごとの警報・注意報発令状況などを確認できます

●ヤフー防災速報スマートフォン向けアプリ 希望する災害情報などの通知を受けることができます

●NHKニュース・防災アプリ 最新ニュースや防災情報を入手できます

## 日頃から防災マップを確認しましょう

災害から命を守るためには、もの時すぐに行動できるように、あらかじめ土砂災害や洪水などの危険箇所を把握し、避難所や避難経路などを確認するなど、事前の備えが必要です。

市では、令和4年2月に「都城市総合防災マップ」を改訂しました。住んでいる地域にどのような災害の恐れがあるか事前に確認しましょう。

※防災マップは、市ホームページでも確認できます



## 非常時の持ち出し品

持ち出し品の一例です。必要に応じ準備しておきましょう。

- 3日分の飲食物  
非常用食料、ミネラルウォーターなどの飲み物、使い捨ての紙皿や紙コップ、割り箸
- 貴重品  
財布、現金、通帳・印鑑、クレジットカード、健康保険証、マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類
- 薬・衛生用品  
服用中の薬、お薬手帳、マスク、体温計、消毒液、歯磨き類、ティッシュ類、生理用品
- 衣料品  
下着、Tシャツ、トレーナー、ジャージやスウェットの上下、長めの靴下、スリッパ、スニーカー、軍手、タオル
- 赤ちゃんのいる世帯  
ミルク・紙おむつ
- その他  
メガネ(使い捨てコンタクトレンズ)、レジャーマット、毛布、タオル、アイマスク・耳栓、雑誌・絵本、スマートフォン、モバイルバッテリー、懐中電灯、電池

## メッセージ



**2つの心理を踏まえ  
相談できる  
関係づくりを**

危機管理課  
藤原 修 参事

災害時に素早い避難行動が取れる人は多くありません。身の危険を感じた時に、安全な場所に逃げるための一歩が出なかったという人がたくさんいます。

緊急時に合理的、客観的な判断ができない心理的理由は2つあります。1つ目は、人間は予期せぬ出来事や初めての経験に対して過剰に反応しないよう鈍感にできているためです。それゆえ、自分に都合の悪い情報を無視したり、そんなひどいことにはならないだろうと過小評価したりする傾向があります。

2つ目は、人間には本能的に楽に生きたいという思いがあるためです。それゆえ、人は自分に都合の良い情報ばかり無意識に集めたり、自分が正しいと思うことを肯定してくれる情報ばかり集めたりする傾向があります。

災害時には、この2つの心理が危険を察知するタイミングを遅らせ、しばしば甚大な被害につながります。まずは、心の奥でこの2つの心理が働くことを認識し、周りの人に思い切って相談したり、教えたりできる関係をつくるのも防災・減災の第一歩です。

## ◎災害時の連絡先

◆避難所に関する事	地域振興課 ☎23-7146	◆停電に関する事	九州電力送配電株都城配電事業所 ☎0120-986-705
◆水道の断水に関する事	上下水道局 ☎23-4510	◆道路の被害	維持管理課 ☎23-2752
◆側溝・排水路などの氾濫に関する事	維持管理課 ☎23-2752	◆田畑の土手崩れに関する事	農村整備課 ☎23-2981
◆災害全般・り災証明に関する事	危機管理課 ☎23-2129	◆浸水家屋の消毒に関する事	環境政策課 ☎23-2130
◆災害時のごみ出しに関する事	環境業務課 ☎24-5560	◆災害で発生したごみの処理に関する事	環境施設課 ☎23-3319

## ◆消防・救急は119番

## ◆警察は110番